



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2022年2月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、感染症の影響から、持ち直しのペースが鈍化している。

最終需要面をみると、個人消費は、持ち直しのペースが鈍化している。観光は、急速に悪化している。住宅投資は持ち直している。公共投資は高水準で推移している。設備投資は、大型案件が寄与して増加している。

生産は緩やかな増加基調にある。雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きがみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。消費者物価指数は前年を上回った。

先行きについては、変異株を含む感染症の動向のほか、供給制約の拡がりや原材料コスト上昇等の影響を注視していく必要がある。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL : 095-820-6110 FAX : 095-820-0299

本資料は当店ホームページ (<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>) にも掲載しています。



1. 需要項目別動向

個人消費は、持ち直しのペースが鈍化している。財消費は堅調に推移している一方、サービス消費は感染症による下押し圧力が強まっている。

12月の商業動態統計は、前年を上回った。1月の乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

観光は、急速に悪化している。

12月の主要ホテル・旅館宿泊者数、主要観光施設入場者数は、前年を上回った。

ただし、変異株の感染拡大から、修学旅行等の予約キャンセルや観光施設の休業・時短営業の動きが続いている。

住宅投資は、持ち直している。

12月の新設住宅着工戸数は、前年を上回った。

公共投資は、高水準で推移している。

12月の公共工事請負金額は、前年を上回った。

設備投資は、大型案件が寄与して増加している。

12月の建築物着工床面積は、前年を下回った。2021年度の設備投資(2021年12月短観)は、前年度を上回る計画となっている。

2. 生産

生産は、緩やかな増加基調にある。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは増加基調にある。機械・重電(原動機、大・中型モーター、冷熱機器)は、減少が続いている。大手・中堅造船は、横ばい圏内で推移している。中小造船は、更新需要等を背景に高水準の受注残となっており、高操業が続いている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きがみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。

12月の有効求人倍率は、1.14倍となった。11月の雇用者所得は、前年を上回った。

4. 物価

12月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）は、前年を上回った。

5. 金融

12月の総預金および貸出金は、いずれも前年を上回った。

6. 企業倒産

12月の県内企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数は前年を下回った一方、負債総額は前年を上回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回 (2022年1月公表分)	今回 (2022年2月公表分)
景気全体 (引き下げ) (9か月ぶり)	緩やかに持ち直している。ただし、このところ、感染症の影響を受けやすい観光やサービス消費を中心に、下振れリスクが大きくなっている。	<u>感染症の影響から、持ち直しのペースが鈍化している。</u>
個人消費 (引き下げ) (9か月ぶり)	全体としてみれば、持ち直しの動きが続いている。	<u>持ち直しのペースが鈍化している。</u>
観光 (引き下げ) (2か月連続)	持ち直しの動きに一服感がみられている。	<u>急速に悪化している。</u>
住宅投資 (据え置き)	持ち直している。	持ち直している。
公共投資 (据え置き)	高水準で推移している。	高水準で推移している。
設備投資 (据え置き)	大型案件が寄与して増加している。	大型案件が寄与して増加している。
生産 (据え置き)	緩やかな増加基調にある。	緩やかな増加基調にある。
雇用・所得 (据え置き)	労働需給は改善の動きがみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。	労働需給は改善の動きがみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。

(注) 下線は、前回からの変更・追加。